

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 2 月 15 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	松崎 朱芳
研究課題	都市外縁部における交通の現状と課題				
研究キーワード	交通政策、地域政策、地理情報システム	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう	11. 住み続けられるまちづくりを	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>日本における交通の経済学・経営学的な研究は、地域という区分ではやや希薄であった。その中で都市や地方という地域の区分に基づく研究はこれまでもいくつか見られていたが、さらに細分化した都市外縁部という地域に着目した研究を行った。</p> <p>2022 年度は都市外縁部における交通の現状と課題を深めるために GIS（地理情報システム）を用いた、千葉県における公共交通の現状と課題を明らかにした。具体的には空間計量経済学的手法を用いて、千葉県の JR 路線における輸送人員の境界を明らかにしたほか、千葉県全体における輸送人員の動向を地理的に示した。</p> <p>こうした研究の成果は、論文 2 本、市民講座での報告 1 本として示すことができた。2022 年度の成果は、他に国内外の論文への投稿、学会報告を通して示していく予定である。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>なし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>松崎朱芳（2022）「千葉県における JR の鉄道需要の変化と空間的特徴」『交通と統計』第 67 号 pp.25-43 一般財団法人交通統計研究所.</p> <p>松崎朱芳（2023）「千葉県における JR 路線の空間的特徴：空間的自己相関分析による一考察」『コロナ後における地域公共交通の現状と対応策』A-860 pp.76-92 公益財団法人日本交通政策研究会.</p> <p>【学会発表等】</p> <p>いちかわ市民アカデミー講師「地域交通の変化とその現状」於オンライン開催 2023 年 2 月 4 日.</p> <p>3. 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none">・研究にあたり、ArcGIS のソフトウェアの更新を行った。・学会参加に当たり、出張を行った。・研究に関わる図書を購入した。 <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <ul style="list-style-type: none">・第 27 回日本政策学生会議（ISFJ）2022 政策フォーラム論文審査員 <p style="text-align: right;">（本文は 2 ページ以内にまとめること）</p>					